

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 事業最適化部会（第7回）

議事要旨

日時：令和8年1月15日（木） 14時～14時30分

場所：都庁第一本庁舎 15階 15F 会議室及びオンライン

## 1. 開会

## 2. 審議事項

### （1）レインボーライド 2025、マルチスポーツ視察における委員からの意見について

12月7日に開催した「レインボーライド 2025・マルチスポーツ」について、委員に視察いただいた。視察における委員からのご意見を報告する。

- 1つ目、開催のあり方について

運営全般について

－安全管理、運営導線がよく整理されており、参加者満足度の高い仕組みが整えられている。

コース設定等について

－お台場付近で一部混雑が見られたが、それ以外は流れていた。

－通行不可による負担と、「東京」のイメージ向上とのバランスはとれている。

－距離はライト層には良いが、経験豊富なサイクリストはより長いルートを好むだろう。

－海の森公園の追加など、コースは改善されている。

－Bike New York との連携を掲げるのであれば、案内サイン等の多言語対応が必要。

－ボランティアの楽しそうな声掛けは、大会を盛り上げている。

－付帯イベントであるマルチスポーツに関しては、自転車ファンは参加者でなくても楽しめたのでは。

－住民が気軽に立ち寄れる、地元メリットがあるイベントにしていく工夫は引き続き必要。

- 2つ目、収入増・新たな価値創造について

スポンサー獲得や露出について

－スポンサーブースは各社華やかだった。

－フィニッシュゲートのロゴの配置などは良いが、観客等が少なく、スポンサー増につなが

らない。

- －配信での広告出稿や出演者衣装をスポンサーロゴが入ったものにするなど、露出の工夫をすべき。
- －ポテンシャルスポンサーへの営業が薄い。
- －エイドステーションは協賛企業が最も活用しやすいP R拠点。食品・飲料企業の参加を促すべき。
- －ライト層向けに健康、美容、旅行等の協賛社を獲得すべき。
- －地上波生中継の影響は大きい。

#### V I P ラウンジについて

- －サービスのホスピタリティの質は高かった。
- －V I P 価格に見合う体験価値の明確化が必要。

#### 海外参加者の誘致について

- －Bike New York との連携などを踏まえ、多言語対応が重要。
- －東京湾の景色が良く、満足度も高いので、海外からの参加者増が期待できる。

#### レインボーライドと THE ROAD RACE TOKYO の連携の視点について

- －経費削減にも限界があり、ロードレースの位置づけについて議論が必要。
- －レインボーライドと THE ROAD RACE TOKYO をセットでG C Tとして展開していくことが良い。
- －2つの大会の連携による露出の最大化が重要。

#### ・ 3つ目、費用対効果について

- －以前に比べると資機材等は減っている。コース誘導をもう少し明確にした方が良い。
- －安全対策については問題ない。施工の工夫により資機材の更なる削減が可能ではないか。
- －首都高上は、資材・スタッフ数ともに充分というよりは過剰気味ではないか。
- －また、契約のあり方について、入札により運営会社が毎年替わっているが継続性を持たせるための対応が必要。

#### 【委員からの質問・意見】

- ・ブランド価値を上げるためにいろいろな工夫があり、今後も競技スポーツとの連携等考えていく必要がある。

- ・エイドステーション（海の森水上競技場）のトイレが不足していたので、改善を検討いただきたい。
- ・ レインボーライド参加者の中には、レインボーライドだけでなく日本全国の大会に参加する人たちもいると思うので、国内の他大会との連携を図れば自転車のすそ野拡大につながるのではないかな。

### **3.その他**

#### **（１）今後の実行委員会のスケジュールについて（予定）**

##### **①令和８年２月**

事業最適化部会の最終まとめ

【委員からの意見・質問 なし】

### **4. 閉会**